

「伝え合う」楽しさを広めたい！

打楽器インターフェース“Vibracion Cajon”は、スペインの打楽器カホンをもとにつくられた電子楽器です。自分で奏でた音を振動に変換して、他者に伝えるという機能を持っています。音を振動としてじかに体感すると、私たちのところに何かが真っ直ぐに響いてきます。誰かが私に語りかけているのです。あなたも、ぜひ振動を体感してみてください。

振動が響きをつたえ、思いをつたえる

打楽器インターフェースを楽しむ会「ビブラション」について
ビブラションでは自由な演奏形式であるセッションの中で、音と振動を用いた演奏コミュニケーションを行い、障がいの有無を越えて楽しむことを目指しています。

公益信託 愛・地球博開催地域社会貢献活動基金助成金事業

Vibracion Cajon

打楽器インターフェース「Vibracion Cajon (ビブラション・カホン)」は、スペインの打楽器カホンにコンピュータ技術を取り入れて、楽器が本来有する機能を拡張したものです。従来の楽器が音中心のコミュニケーションなのに対して、Vibracion Cajon は自分で奏でた音を振動に変換して、他者に伝えるという機能を持っています。これによって、楽器演奏を経験したことがない人や、通常の演奏体験を楽しむことに不便を感じる人にも、楽器に親しんでもらえたらと考えます。

Vibracion Cajon は他の楽器を接続することができ、様々な楽器が生み出す振動を体感することもできます。振動によって音を体で理解すると共に、音だけでは伝えることのできない微妙なニュアンスもやり取りすることができます。



本来楽器は敷居の高いものではありません。この活動の背景には、もっと多くの人に楽器で遊んで親しんでほしいという願いも込められています。

詳しくはこちら <http://www.kanejun.com/vc.html>

Vibracion Cajon 開発者「金箱淳一」プロフィール

1984年長野県浅科村(現 佐久市)生まれ。
岩手県立大学 ソフトウェア情報学部を卒業後、コンピュータの存在を感じさせない電子デバイスの開発を目標に情報科学芸術大学院大学で研究制作を行った。研究対象は人間と音楽の媒介である「楽器」。現在は滋賀県の玩具会社で企画業を行う傍ら、多くの人に使ってもらえる楽器を研究する活動に取り組んでいる。



Vibracion Cajon 体験会

ビブラションでは、障がいの有無に関係なくこの楽器を楽しんでほしいと考えています。楽器の体験会を右記の日程で開催しますので、音楽経験の有無にかかわらず気軽にお越し下さい。

と き：平成21年8月30日(日) 10:00～12:00

ところ：名古屋市女性会館
3階 大研修室(入場無料)

名古屋市中区大井町7番25号
TEL 052-331-5288 FAX 052-332-9458
地下鉄名城線「東別院」下車①番出口から東へ徒歩3分

主催・問合せ 打楽器インターフェースを楽しむ ビブラション(振動) 代表 小寺岸子
〒470-2309 愛知県知多郡武豊町字梨子ノ木 2-56 TEL: 090-3958-2586 E-mail: kotera@taketojo.jp

後援 愛知県立聾学校長会 (社)愛知県聴覚障害者協会 愛知県手話通訳問題研究会 愛知のろう教育を考える会 武豊町社会福祉協議会 NPO たちとよ (順不同)